

きくまつり

11月8日（土）に、本校の創立を祝って「きくまつり」が開催されました。

体育館で開催される「開校を祝う会」では、本校の卒業生で、広告制作のクリエイターとして活躍されている山崎卓さんをお招きしました。これまで携わった数々のお仕事について紹介して下さるとともに、5感を働かせて生活していくことの大切さについて、実例をもとに児童に体験する機会をさせながら子どもたちに話して下さいました。

「きくまつりの集い」では、校庭の櫓を中央に、全校児童がお客様と一緒に大泉音頭を踊り、運動場に菊の子達と保護者の大きな輪が広がりました。

そしてみんながお待ちかねの「きくの子汁」作りです。それぞれの生活団で春から一生懸命に育ててきた、とれたての野菜です。例年以上に豊作な食材で、1年生から6年生が協力して、野菜を切ったり、飯盒でご飯を炊いたり大忙しです。「熱い！」「煙で前が見えないよ！」煙にまみれた中でもゴーグルを使って協力して火の番をしました。さあ、美味しい「きくの子汁」ができあがったようです。保護者の皆様も交えて、みんなで楽しく仲良くいただきました。あっという間に飯盒も空、お鍋も空っぽになってしまいました。



お腹いっぱいになった後は、こちらも春から心を込めて育ててきた菊の鑑賞会です。本校では、1～4年生は小菊を、5～6年生は大輪を、一人一鉢育てます。菊の観賞カードには、これまでの菊作りをふり返っての思いが記されています。残念ながら、途中で菊を枯らしてしまったり、うまく育たなかったりした子もいます。その悔しい気持ちを次の年への決意につなげて発表してくれたお友達もたくさんいました。

「大きく舞い上がれ！」フィナーレは、紙風船飛ばしです。紙風船には、「宇宙飛行士になりたい！」「パティシエになる！」など、子ども達一人一人の夢が書かれています。みんなの夢の実現を目指して、「つどいの歌」の合唱の中、風船が空に舞い上がっていきました。少しひっかかりそうな紙風船には「がんばれ、がんばれ！」の声が運動場に響き渡りました。そして、ゆっくりと秋空に飛び立っていく紙風船を、子ども達は笑顔で見送っていました。この夢の紙風船が、きくまつりの思い出ナンバー1となっている子どもたちが多くいるようです。

